

Q10 ねらいにせまるために書く活動は、どのように取り入れるとよいのでしょうか。



書く活動は、児童が自ら考えを深めたり、整理したりする機会として、重要な役割をもちます。この活動においては、書くために必要な時間を十分に確保することで、児童は自分なりの取り組み方でじっくりと考えることができます。

○書く活動には、自分の考えをはっきりさせたり、思考を深めたり、自分を振り返ったりすることができるという役割があります。

多様な発言を引き出す。

自分の考えを素直に書かせることは、自分の意見を述べるのと同じ効果があります。また、簡単なメモを書くことによって、児童の発言を促すことができると考えられます。

クラス全員の参加を図る。

分かっているけど発言できなかったり、頭の中だけでは考えをまとめられなかったりする児童にとっては、書くことが考えをまとめる手助けとなり、発言への意欲づけとなります。



児童個々の変容を確かめる。

書いたものから、児童個々の感じ方、考え方や変容を確かめることができ、評価にもつながります。また、その後の指導の手がかりにすることができます。

○次のような場面で取り入れることが考えられます。

事前

ねらいに関する児童の考え方や感じ方、生活経験を把握しておくために、アンケートを取る方法があります。アンケート結果は、導入で提示することもあります。

授業

- 読み取った登場人物の心情や言動に対しての自分の考え
- 中心人物の生き方に対する感想や、自分の生き方と比較させたいこと
- 自分の生活の振り返りやその時の思い、登場人物への手紙など、書く活動を入れると効果的です。
- 学習で高まった思いや考えを、手紙や感想に書いてまとめることができます。

事後

アンケートやワークシートなどは、ファイルに綴じたり、ノートに貼ったりしておきます。学習を継続的に深めることができ、心の成長の記録として活用したり、評価に生かしたりすることもできます。

◆ おおかみが、まえより、ずっと、いい、きもちになったのは、なぜでしょう。



一ねん
なまえ
くみ
ばん

9 はしのうえのおおかみ

1年 はしのうえのおおかみ（親切、思いやり）

					どこに
					どんなふう

◆ みんながくらしやすい町には、どこに、どんなふうがありますか。

三年
名前
組
番

14 みんながくらしやすい町

3年 みんながくらしやすい町（親切、思いやり）

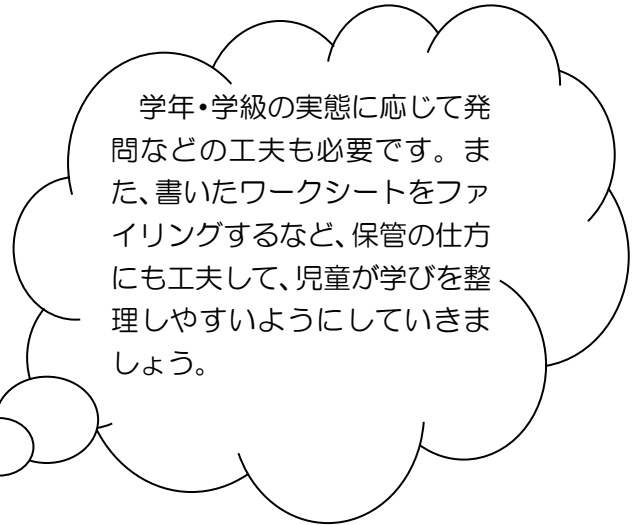
◆ 日常生活の中で、真心をこめてしたいと思っていること、どんなことがありますか

◆ 友人の「いい話」を聞きながら、手品師は、どんなことを思っていたのでしょうか。



六年
名前
組
番

6 手品師



学年・学級の実態に応じて発問などの工夫も必要です。また、書いたワークシートをファイリングするなど、保管の仕方にも工夫して、児童が学びを整理しやすいようにしていきましょう。

6年 手品師（正直、誠実）

○書くことが苦手な児童への対応

書くことが児童の負担にならないように、書く量も配慮する必要があります。特に低学年は、書く作業そのものに時間を要するので、十分思考できるよう時間をきちんと確保し、文字だけでなく色や表情のマークなどを活用してわかりやすく示したり、書く活動の前に説明したりするとよいです。

また、GIGA 端末の活用も考えられます。デジタルホワイトボードを活用することにより、友達の意見を瞬時に見ることができ、友達の書いた言葉を参考にすることで、自分の思いを表現しやすくなります。また、様々な意見を知ることができ、より深い学びが期待できます。

しかしながら、付箋の数が多すぎると、逆に情報過多になってしまうことも考えられますので、授業のどの場面で活用することが効果的かを吟味する必要があります。教材分析を行っていく中で、児童の実態と照らし合わせながら、よりよい活用を考えていきましょう。

（GIGA 端末の活用については、Q16 を参照してください）



仕事だから仕方ない

自分にとって大切なガチャんをお風呂にいれるのでやめれない。

これがぼくの仕事なんだから、ママよりは楽だから。

弟はまだあまり一人できないから、お風呂も一緒に入らないといけない。